

観覧者のみなさまの感想

・「ありがとうございました。」「一生忘れない！」と思つた場面でも時の経過の中で色さえも消えていく。今日、多くのカメラの眼（目？）が残した一枚いちまいにとても大切な事を教えていただきました。 ☆感謝☆

・さまざまな角度からの撮影、ねらいが生きています。時の流れの中で形として残るものがないなか、写真の特性を生かしたりリズムは「私」に大きな衝撃を受けました。日々の観点と努力に敬意を表します。

・作品はすばらしくかったです。特に震災をとり上げた作品に感動しました。これからもますますの発展を。

・いろいろな角度やとらえかたを見せてもらいありがとうございます。

・それぞれの作品にこめられた作者の状況が感じられて、胸が少しつまったかもしれない。表題があるから、写真展などはじめてでも、久しぶりかもしれぬ。私などでも、いろいろに感じています。ただ、いろいろに感じています。ただ、いろいろに感じています。

（全国展）
 「姉との別れ」
 亡くした母がよみがえりました。同じくつをはいてましたから。空の様子、空のベッドがさびしさを物語るようでした。いっしょに歩いた道が心に重なりました。

「里山からの便り」
 大きい写真の風景が、昔、子どものときにごした熊野の風景のようになつかしく。おじいさんのしわの、なんておだやかな表情かと。おばあさんの背の曲がり、ふと空を見上げた姿がいなこ庵 ミステリアスな奴ら」
 「どこか（新聞？）で見たような気のする猫のアップの舌先。」
 「天空に生きる」
 一番小さい写真―森林から見下ろした家と緑が美しい。

（三重展）

「錦繡」
 高山の岩に立つ木々の緑が、もやにけむつて美しい。その前に、少し色づき始めた薄緑の庭」
 「専修寺の庭」
 木々で日影になったり陽がさしていたり、の細い道の並ぶ石がなつかしい気がしました。

「飛騨の匠」
 身を横たえて「物」にいとむ白い軍手がせまる気がします。

「失われた街」
 雨上がりの影のどこにもある水たまりに写ったビルの影が悲しい！
 生意気に失礼いたしました。楽しんでながめさせていただきました。ありがとうございます。

・「桂の人」 [In Memory of YASUKO] がよかった。

・岩佐さんへ
 ご招待をありがとうございました。ぬくもりのある写真をたくさん見られてよかったです。写真のことはよくわからないのですが、岩佐さんの写真は独特で写真絵本、見てみたいです。



三重支部展会場

JRP三重支部会員写真展

荒木信子 「失われた街」

「2008年、津市の第三次総合計画の一つとして津駅前北部地区市街地再開発事業が打ち出されました。次いで2008年、土地区画整理事業が「良好な住環境を形成するため」という名目で計画され、幅員50m程度の道路が街中を貫き二カ所の公園が設置されることになりました。住民は立ち退きを強いられ、散り散りになり、旧参宮街道の小規模商店は店を閉めることを余儀なくされ、生活道路だった路地も失われてしまいました。長年住み慣れた我が家も2010年に取り壊され、周りの家々も次々と姿を消し、子どもころから見慣れた風景は跡形もなく消え去ってしまいました。毎日私が踏みしめた土も、私の頬をなでた木々のそよぎも、朝な夕なにことばを交わした近所の人たちのぬくもりも、さらに私が呼吸した空気さえも、みんなどこかへいつてしまいました。かつて我が家のあった場所に立つと寂しさと虚しさが胸をよぎり、まるで私の身体の一部が失われたような思いにとらわれることがあります。

そのようにして失われていく街を記録と記憶に留めておきたいと思い、2003年からこの写真を撮りつづけてきました。が、このたびJRP会員のみなさんの協力によりこの写真展を開催することができました。ご高覧いただき申し上げます。

2012年 12月

荒木 信子



日本メリアン写真館津市支部 会員写真展 Vol.1 荒木信子 「失われた街」 撮影日：2005年3月



荒木 信子 写真展
失われた街
 12月12日(水)～16日(日)
 午前10時～午後5時(最終日は午後4時まで)
 アスト津5階 ギャラリー2



編集後記

一〇月、十一月は「視点」展、支部展など、諸行事が重なり、また私事で恐縮ですが、一周忌の法事もあって、二ヶ月まとめた発行になってしまいました。深くお詫びいたします。